

シンナガサキミーていんぐ開催レポート

i n 小桧小学校区



令和6年3月15日（金）、自治会やまちづくり育成協、育友会、PTA、地元事業者、学生など18人の皆さんにお集まりいただき、小桧小学校区の「シンナガサキミーていんぐ」を開催しました。

自己紹介では、高齢者サロンや見守り活動、清掃活動、お盆・歳末警戒、環境活動などそれぞれの立場で地域のために行っている活動や、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①NPOやボランティア団体の情報について

NPOやボランティア活動している方などの情報が一元化されると、高齢者サロンや学校などが講師依頼しやすくなり、長崎をより良くできるのではないかと。

市の考え方
回答

市民活動団体については、市民活動センター「ランタナ」において、一定の基準を満たす団体の団体登録を行っており、センターのHPに登録団体情報を公開しています。（R5年度末現在登録団体数：200団体）

また、ボランティア団体については、長崎市社会福祉協議会において、ボランティア活動を行う団体や個人が登録をしており、登録団体の情報については同協議会のHPに公開しています。（R5年度末現在登録団体数：151団体うち140団体がHP公開/個人は91人）同協議会では、ボランティア活動をはじめたい方やボランティアを募集したい団体とのマッチングの相談などボランティア全般に関する相談窓口も担っています。

そのほか、市のホームページ上で発信している「ながさきまちづくり学校」において、市が実施している各種講座を集約し、HPで発信することで、まちづくりに関心のある方たちが学びたい講座を見つけやすくするとともに、学んだ人たち同士のネットワークを作ることにつなげています。

②認知症の方の声掛け訓練について

小神地区の認知症の方の見守りネットワークということで、自治会などと協力しながら声かけの訓練等を行っている。今後もずっと広げていって、各地域で行っていただければと思う。

市の考え方

地域包括支援センターと連携し、他の地区でも声掛け訓練等の実施を検討しています。今後も1度開催した地域での継続した訓練と新たなエリアでの訓練を計画していく予定です。

回答

③公共施設の学習利用について

外で勉強する際に、県庁と図書館に行くが、人気なので席がない。そういう時に地域の公共施設などが使えたらいいと思うが、以前、1時間と制限があったので、もっと利用しやすくなればいいと思う。

市の考え方

市立図書館については、現在、自習等で利用するスタディールームの利用に時間制限はありません。利用できる時間は、9:30～21:00です。

回答

また、お近くの木鉢地区ふれあいセンターについても、時間制限はありませんので、学習スペースとして利用いただければと思います。

なお、そのほかの公民館・ふれあいセンターの各図書室については、施設の規模も様々で、地域の事情もあり、それぞれの施設で対応が異なります。各施設に直接お問い合わせください。

そのほか、「通学路の安全点検をして整備してほしい」、「長崎に魅力があるということを発信してほしい」、「立神公園の整備をしてほしい」、「若い世代とシニア世代の交流が自然にふれあえる場所ができるといい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。



鈴木市長のひと言

皆さんが地域をなんとか良くしていきたいという気持ちが強いつていうことを心強く思いましたし、何よりも若い皆さんが地域を愛してくれて、地元のために何かやりたいなという気持ちを強く思ってくれているということがうれしかったです。こういう若者が増えるように、市のほうも頑張っていきたいと思っています。



参加者からの感想

個々の問題より、地域を見据えた発言があり、それぞれ長崎のことを考えていると感じた。

行政に対する要望からスタートしたが、他の参加者の「自分たちでできることをやる」という意見が刺さりました。

様々な立場の方の思いを聴くことができたし、若い方の思いを知ることができた。

若者自身が地域を知り、広めていくことの重要性を感じ、また地域の皆さんからの若者への期待を強くかけていただき、使命感が深まりました。

